



赤色の位置に鏡を配置するとBは見えないが、ただし、これでは↑↓だけ行路が伸びてしまい、目視よりも小さく見えてしまう。

Bを見えなくするためには迂回する必要があり、迂回すると行路が伸びるために目視よりも小さくなる。それを補正するためには、拡大する必要がある。拡大するために、非常に小さな鏡 (光の波長よりも大きな) をたくさん使って凹面鏡を作り、凹面鏡を組み合わせることで、行路の増分を補正する。 (ただいま考え中...)

→ 可憐らしい
この総想で可